

国立公衆衛生院 (国立保健医療科学院) (事後評価)



平成16年11月8日 国土交通省関東地方整備局

事業概要

国立公衆衛生院の役割

公衆衛生に関する人材養成、調査研究機関

- 国や地方公共団体等における公衆衛生技術者の養成及び訓練
- 公衆衛生に関する行政システム・政策・地域活動に関する調査研究

旧庁舎の状況

国立公衆衛生院(港区白金)

- 「国の行政機関等の移転に関する閣議」において移転対象機関に決定
- 老朽化(S13年建築)
- 狭あい(延床15,969m²、現庁舎の7割程度)



(旧国立公衆衛生院)

周辺土地利用図



事業概要

施設概要

敷地： 30,000 m²、無指定

面積： 21,080 m²(70% / 400%)

構造： SRC - 8 - 1他

設計： 平成9年6月～平成11年2月

工期： 平成11年3月～平成13年11月

総事業費： 約106億円

計画の妥当性

利用者の利便性向上

	整備前 (H12年度)		整備後 (H15年度)
延床面積	15,969m ²	→	21,080m ²
研修課程数	33課程	→	82課程
研修期間 (各研修日数の合計)	1,484日	→	2,884日

執務環境の向上

[アンケート結果] (対象:職員)

Q. 執務環境は向上したか

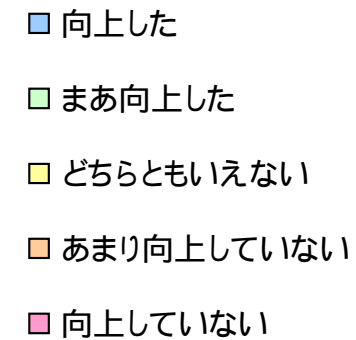
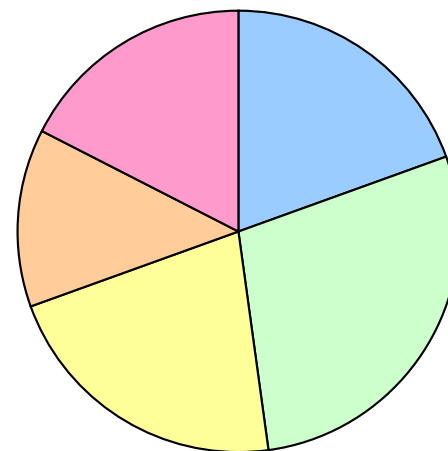
向上した(48%)

・研修設備の充実

× 向上していない(30%)

・冷暖房の設定が悪い

・交通の便が悪い



費用対効果

費用対効果

(単位:百万円)

	項目	種別	効果
効果	土地有効利用	土地処分益	10,404
	利用者の利便	立地の改善	47
		建物性能の向上	16,745
	安全の確保	事故・災害の縮小	1,639
	環境への配慮	地球環境保全への寄与	24
総効果(B)			28,764

(単位:百万円)

	項目	種別	費用
費用	初期費用	建設費	11,976
		企画・設計関係費	333
		土地取得費	10,921
	維持修繕費	_____	1,602
総費用(C)			24,832

$$\text{費用対効果 (B / C)} = \underline{1.15}$$